

# 新潟縣 公民館月報

(昭和33年3月18日第三種郵便物認可)

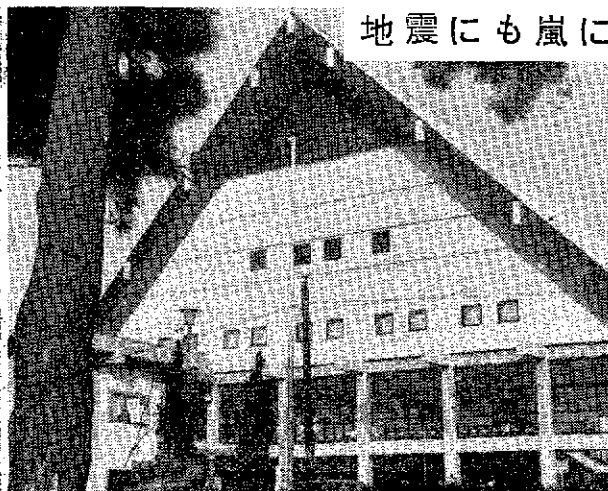
昭和39年11月1日(毎月1回1日発行)

発行所 新潟県公民館連絡協議会  
 (新潟市一番町通町・県教育庁社会教育課内)  
 【電話(新潟) 35511の624】  
 【振替(新潟) 4094】

発行人 飛田一郎  
 (定価 1部15円)

11月号 (141号)

## 地震にも嵐にもびくともしない基礎づくり



〔主会場となった高田市中央公民館(厚生会館)〕

### 生かされた会場効果

### 第15回県大会盛会に終わる

新潟地震で延期されていた県公民館大会が、さる10月4、5日、高田市厚生会館(中央公民館)で開催された。地元高田市からの二〇名をふくむ県内各地からの参加者総勢五百六名が、三部会にわかれ①職員、施設、②社教関係団体、③国民運動、を中心に討議、最終日には部会の要項事項をまとめ、その処理については本会理務部に一任した。要項事項は①市町村教委に対し、公民館職員の身分確立と待遇改善に関するもの。②全国公民館大会に対し、③社教主事給与は国庫負担とすること。④独立館建設費国庫補助の増額。⑤公民館主事の資格規定の整備等であった。

第1日の開会式は、完備したさまざまな施設を利しての、演出効果もよく、施設がフルに生かされていた。陸上自衛隊による吹奏楽のかなでられるなか、感謝状贈呈者名、表彰館2館、表彰職員1名(詳細前号)に対し、飛田会長から記念品が贈られた。

このあと「社会教育の課題」と題し元文相森戸辰男氏の記念講演があったが、要旨はおよそ次のようなもので大きな感銘を与えた。



第15回新潟県公民館大会



〔熱心に講演を聞く。右上は森戸氏〕

### 今月は4ページ

本号は県人公報集号として、毎月と取り8ページの予定でしたが、二十余名に依頼した大会参加感想文が到着したもののわずかに四名という結果でやむなく減ページせざるを得なくなりました。まもなく大会記録集も完成いたしましたので、それどうめあわせといつてよいと思います。

### 11 月の歴史

ネール  
 一八八九年十一月十四日生れ  
 インドの政治家。若くから独立運動に献身、たびたび投獄された。独立後は首相として、国際政壇に平和推進の大きな役割をばした。先年惜しまれながら没した。

成沢日報論説副委員長、樋口善町館長の三氏による別稿のようなシンポジウムがあり、最後に、玉井教授による次のような講評があった。二日間わたる講評を閉じた。「大会」といってお祭りの行事に比重がかかりやすい。また例年この種の大大会に出ると、前年度から実際上の積み上げがなされていない場合が多い。しかし、この分科会は問題提起の社教主事諸氏が予習をやってきていたので、ただに核心に入ることができてよかった。また分科会の報告は、さすが社会教育の専門家であり、うまくまとめた。その他開催地としての条件づくりもすぐれていた。

### お願い

新潟地震以来、依頼原稿をばさばさ、一般の寄稿もたえがたです。御多忙のなかにも執筆をお願いすることも心苦しいことですが、しかもこんなときこそ生きた理論と実践が必要なのだと思います。いろいろの寄稿をお待ちいたしております。(編集長)

人間精神なるものは、なんとという自覚しものなのである。欠点は救えきれぬけれども、人間は幾時代を通じて、理想のため、真理のために、信仰のため、国や名譽のために、彼の生命を、そして彼に大切なものごとごとく犠牲にしてきたのだ。……自然の強大な力にたつてはオモチャのごときのものであり、この広大な宇宙のなかで塵の一片にも劣る人間が、自然力に対して戦いをいそむか、変革の機軸たるその心をもつて自然力を支配しようと努力してきた。……人間のなかに何かかたる悪魔的なものもあると同様、神に似た何ものかが存在する。(インドの婆羅)

# 今後の公民館の経営について私はこう思う



宗大云々 シンポジウムから

(熱心なシンポジウム会場)

タテ割り行政のロス正す推進役となれ  
立派な施設々備を整えることが先決  
学習することが経営の拡充に通じる

(成沢氏)  
(樋口氏)  
(玉井氏)

この日の宗大云々シンポジウムは講師に新潟県  
報論副委員長長沢謙氏、巻町公民館長樋口正  
雄氏、新潟大教授玉井成光氏の三氏が登壇、  
司会には堀元富田市の社会教育課長中山克氏  
があたり「今後の公民館について私はこう思う  
」とそれぞれの立場から貴重な意見が述べられ  
た。以下はそのあらまし。

成沢氏 公民館は社会教育団体の  
指導的役割を担うこと、もう  
ひとつはタテ割り行政のロスをなく  
するのための横の連携を緊密にす  
る役割がある。また市町村の施設  
の中から特に公民館が受け持つべ  
きものははっきりさせる必要があ  
る。

樋口氏 公民館は社会教育団体の  
指導的役割を担うこと、もう  
ひとつはタテ割り行政のロスをなく  
するのための横の連携を緊密にす  
る役割がある。また市町村の施設  
の中から特に公民館が受け持つべ  
きものははっきりさせる必要があ  
る。

玉井氏 公民館は社会教育団体の  
指導的役割を担うこと、もう  
ひとつはタテ割り行政のロスをなく  
するのための横の連携を緊密にす  
る役割がある。また市町村の施設  
の中から特に公民館が受け持つべ  
きものははっきりさせる必要があ  
る。

独立館は割に過ぎない。  
個人の生活が向上し、いながら  
この多忙な時代に、公民館がこん  
な状態で問題にならない。した  
がって水滸以上の立派な公民館施  
設を作るのが先決であるが、現  
在ではまだまだ、いろいろな困難  
な状況がある。そこで、いある  
施設を最大限に活用することを考  
えなければならぬと思う。たと  
えは照明を明るくしてあたたかい

玉井氏 学習することによって  
住民も公民館職員も、経営を拡充  
していかなければならない。この条件を  
整備することによって、すなわち  
施設、職員、予算の充実等行政  
一般の問題にかかわってくるこ  
とである。

質問 成沢先生、施設定着につ  
くよの頭を悩ましておられること  
とは、どうかわかるか、その前に必ず  
市町村連動者かららちと予算的  
らつけをもらって前向きな姿勢を  
とっていただく必要はないとい  
う条件があるが。

成沢氏 まず県段階の姿勢を正  
させることが大切だろう。たとえ

ふんいきで夜の会合を楽しくする  
こと。はきものをぬいで人らなけ  
ればならない部屋が多いが、せめ  
て上げただけでもきれいなものを  
そろえておきたい。また備品を  
し出すにも電話一本で遠い所へ  
もすぐ届けられるようにする。こ  
のため少なくとも中古でもいいが  
の軽自動車の一台中古では最低限  
の人員の人選も大切なことだ。そ  
して気やすく入れる女園をたさん  
つくる。

玉井氏 大会主題の中に「住民  
は公民館部というふうなものを作  
らざるが、県行政の中に、これ  
にとり組むための姿勢がはつきり  
してなければならぬ。それに  
はまた、たむつかしい問題がある  
が、ひとつひとつ解決してい  
く道はない。

質問 精神的な満足というこ  
とをもう少し考えて。

玉井氏 人間は物質的なものに執  
着する。これは生存と関係がある  
しかし創造のよびのなきない労働  
は牛馬の労働である。よびのなき  
ある労働を考えていく過程に精神  
的な満足も生まれる。

質問 今後の社会教育の見通  
り。

のよりよい生活の明るい社会を築  
く、という二つの目的がある。  
この目的にはひいては、物質的  
豊かき、ひいては精神的な豊かき  
という二つがとがまされてい  
る。この目的は、政治的目標でも  
あり、教育の目標でもある。

教育には学校教育と社会教育が  
ある。公民館は社会教育にお  
けるいろいろな条件を改善してい  
く役割を果すため、社会に対し個  
人に対し奉仕をしていく。この内  
容を充実させるため、学習条件や  
活動条件の整備、指導助言、援助  
をするのが任務である。

これら一切の行政、活動をふ  
くめて、私は経営と解釈する。

成沢氏 公民館はいままで手足  
を動かさずじまつて多過ぎて、頭を  
痛くすることが多い。

玉井氏 末広がりにはなかな  
らぬ。ならないとすれば皆さんは  
失業してしまつた(笑)。急速  
には推進しないだろうが、歴史的  
経過から見ても、長い間にも  
とよくなることは間違いない。

成沢氏 社会教育という四つ  
の字を響くとおぼろげな感じがするが、  
欧米の例を見ても、いまの経済が  
成長しようが、生活水準が高ま  
ろうが、人間自身が向上文化的な  
生活をいとなむという人事業を行  
なうには、将来ともに社会教育の  
要素を抜きにしてはならないとい  
うのである。

良書紹介

大阪学芸大学助教授 宇佐川満編

**現代の公民館** A5判 ケース入

発行所 東京都文京区駒込 361 神明町 361 生活科 学 会

お申し込みは千八百五  
〇円を添えて(県公連へ)

関係機関団体にまかせてしまつた  
方がよい。  
生活水準向上のため、地域毎に  
それぞれ総合的な計画がなされる  
べきであるが、この計画立案の推  
進に当たっていただきたい。社会  
教育関係団体の中、主権権をき  
つて指導性をもつて、おのづから  
公民館の地位を高まる。

樋口氏 文化祭の行事のうち、  
洋画、書道、いけばなという  
ある。これをいっしょにやるとな  
ると、公民館の手だけではどうに  
もならない。したがって各関係者  
間の連絡を密にして、分担をきめ  
あつていって、長期間にわた  
つてやるという方法をどうとい  
ふか。

雨天。晴天

11. 雨もあつたべの巻 うつり外す



# テープからのスポット

大会速報・部会報告討議から

## 第1部会(行財政)——発表者山内貞治氏(栃尾)

参加80名、行財政部会だけあって、一方の旗頭の集まりであり、職務内容、待遇、社教施設における公民館の位置等について討議が集中した。

学校教育が社会教育に優先している現状から脱皮するため、次の要望事項を大会の名称において関係方面へ反映せしめられたいとして採択した。

- ①市町村教委は職員の身分の安定、待遇の改善、施設の充実に努められたい
- ②職員の待遇改善のため、国、県の補助を全国大会を通じて要請すること
- ③社教主事の給与は国庫負担にすること
- ④独立公民館建設の国庫補助を大目に増額すること
- ⑤職員の資格規定を設けられたい。

## 第2部会(社会教育関係団体)——発表者丸田昭三氏(柏崎)

参加者150名、公民館にもっとも関係深い社教関係団体の問題だけに活発な発言があった。社教関係団体の概念がはっきりつかめず不満な顔も見えた。

社教関係団体の把握、連絡調整、環境の醸成、公民館の施設設備を充実して開放する等が公民館の仕事である。社教関係団体はまだ公民館にたより過ぎている。むしろ社教関係団体の活動を通じ、公民館の水準がひき上げられるというふうにしたい。公民館は社教関係団体によって支えられ、団体は公民館を拠点として育てられる。従って団体の利用に適した公民館建設が急務である。

## 第3部会(国民運動)——発表者吉津勝栄氏(新潟)

参加者60名、あれもこれもと手をのばして公民館をはたして満足なものができるか。よそから着せられた仕事に真剣にとり組むゆとりがあるか。出ることばは、「仕事を整理しなくてはならない」ということばかり、公民館の悪いくせで、なんでもかんでももってこい、やってやろうという考え方があがるが、自分の気持ちだけで物事を処理しようとすることは反省したい。

地域住民の組織づくり、対象の把握(とくに成人男子の位置づけ)が大切な。

どの運動も地域まで行くと空まわりしたり消えてしまうものが多い。国県は、公民館の本質を理解して、もっと能率的な進め方を研究してほしい。同じような運動が多すぎるので、現在あるものの中へ組み入れて一本化していくのがよい。職員自体の反省も必要で住民から信頼される職員となること。そして公民館の本質を住民から理解してもらうことが根本である。



【婦人会の座談会の司会をする滝沢主事】

# ベテランの70年

中魚津南町 公民館主事  
**滝澤秀一氏**

決して表面へはでたがらない。一語も立たない存在だが、津南町にとつてはかけがえのない縁の下のもちであるのだ。滝沢さんは東京の電気学校を出てから、夢を抱いて中国大陸へ渡った。そして華北殖産公司を立ち出した。中魚津の激動の中に巻き込まれていく。実戦を山西省の山奥で体験したが、身なりが小さいことが幸いしてか、介した梁井主事も隊全滅のなかにひとりだけ助かっていた。終戦とともに戻ったが、中国に残るつもりで、山東省政府文化協全職員となり日語新聞の編集にたずさわったことがある。しかし責任者が戦犯でひっぱられてしまったので内地へ帰らざるを得なくなった。結局ふるさとの地におちつくことになつてしまったが、さうさく若御本人はハゲなとなつて活躍することになる。そこで生来好きな文章の才を発揮して、機関誌「生涯」を84号も発行した。社会教育畑の人にふさわしいかどうでもあった。

「社会教育を具体的に住民生活の中に根づかせたい。このためのサービス体制を備えたい」と念じながら滝沢さんは、きよ京の電気学校を出てから、夢を抱いて中国大陸へ渡った。そして華北殖産公司を立ち出した。中魚津の激動の中に巻き込まれていく。実戦を山西省の山奥で体験したが、身なりが小さいことが幸いしてか、介した梁井主事も隊全滅のなかにひとりだけ助かっていた。終戦とともに戻ったが、中国に残るつもりで、山東省政府文化協全職員となり日語新聞の編集にたずさわったことがある。しかし責任者が戦犯でひっぱられてしまったので内地へ帰らざるを得なくなった。結局ふるさとの地におちつくことになつてしまったが、さうさく若御本人はハゲなとなつて活躍することになる。そこで生来好きな文章の才を発揮して、機関誌「生涯」を84号も発行した。社会教育畑の人にふさわしいかどうでもあった。

「社会教育を具体的に住民生活の中に根づかせたい。このためのサービス体制を備えたい」と念じながら滝沢さんは、きよ京の電気学校を出てから、夢を抱いて中国大陸へ渡った。そして華北殖産公司を立ち出した。中魚津の激動の中に巻き込まれていく。実戦を山西省の山奥で体験したが、身なりが小さいことが幸いしてか、介した梁井主事も隊全滅のなかにひとりだけ助かっていた。終戦とともに戻ったが、中国に残るつもりで、山東省政府文化協全職員となり日語新聞の編集にたずさわったことがある。しかし責任者が戦犯でひっぱられてしまったので内地へ帰らざるを得なくなった。結局ふるさとの地におちつくことになつてしまったが、さうさく若御本人はハゲなとなつて活躍することになる。そこで生来好きな文章の才を発揮して、機関誌「生涯」を84号も発行した。社会教育畑の人にふさわしいかどうでもあった。

「社会教育を具体的に住民生活の中に根づかせたい。このためのサービス体制を備えたい」と念じながら滝沢さんは、きよ京の電気学校を出てから、夢を抱いて中国大陸へ渡った。そして華北殖産公司を立ち出した。中魚津の激動の中に巻き込まれていく。実戦を山西省の山奥で体験したが、身なりが小さいことが幸いしてか、介した梁井主事も隊全滅のなかにひとりだけ助かっていた。終戦とともに戻ったが、中国に残るつもりで、山東省政府文化協全職員となり日語新聞の編集にたずさわったことがある。しかし責任者が戦犯でひっぱられてしまったので内地へ帰らざるを得なくなった。結局ふるさとの地におちつくことになつてしまったが、さうさく若御本人はハゲなとなつて活躍することになる。そこで生来好きな文章の才を発揮して、機関誌「生涯」を84号も発行した。社会教育畑の人にふさわしいかどうでもあった。

「社会教育を具体的に住民生活の中に根づかせたい。このためのサービス体制を備えたい」と念じながら滝沢さんは、きよ京の電気学校を出てから、夢を抱いて中国大陸へ渡った。そして華北殖産公司を立ち出した。中魚津の激動の中に巻き込まれていく。実戦を山西省の山奥で体験したが、身なりが小さいことが幸いしてか、介した梁井主事も隊全滅のなかにひとりだけ助かっていた。終戦とともに戻ったが、中国に残るつもりで、山東省政府文化協全職員となり日語新聞の編集にたずさわったことがある。しかし責任者が戦犯でひっぱられてしまったので内地へ帰らざるを得なくなった。結局ふるさとの地におちつくことになつてしまったが、さうさく若御本人はハゲなとなつて活躍することになる。そこで生来好きな文章の才を発揮して、機関誌「生涯」を84号も発行した。社会教育畑の人にふさわしいかどうでもあった。

「社会教育を具体的に住民生活の中に根づかせたい。このためのサービス体制を備えたい」と念じながら滝沢さんは、きよ京の電気学校を出てから、夢を抱いて中国大陸へ渡った。そして華北殖産公司を立ち出した。中魚津の激動の中に巻き込まれていく。実戦を山西省の山奥で体験したが、身なりが小さいことが幸いしてか、介した梁井主事も隊全滅のなかにひとりだけ助かっていた。終戦とともに戻ったが、中国に残るつもりで、山東省政府文化協全職員となり日語新聞の編集にたずさわったことがある。しかし責任者が戦犯でひっぱられてしまったので内地へ帰らざるを得なくなった。結局ふるさとの地におちつくことになつてしまったが、さうさく若御本人はハゲなとなつて活躍することになる。そこで生来好きな文章の才を発揮して、機関誌「生涯」を84号も発行した。社会教育畑の人にふさわしいかどうでもあった。

先月号に紹介した梁井主事も隊全滅のなかにひとりだけ助かっていた。終戦とともに戻ったが、中国に残るつもりで、山東省政府文化協全職員となり日語新聞の編集にたずさわったことがある。しかし責任者が戦犯でひっぱられてしまったので内地へ帰らざるを得なくなった。結局ふるさとの地におちつくことになつてしまったが、さうさく若御本人はハゲなとなつて活躍することになる。そこで生来好きな文章の才を発揮して、機関誌「生涯」を84号も発行した。社会教育畑の人にふさわしいかどうでもあった。

「社会教育を具体的に住民生活の中に根づかせたい。このためのサービス体制を備えたい」と念じながら滝沢さんは、きよ京の電気学校を出てから、夢を抱いて中国大陸へ渡った。そして華北殖産公司を立ち出した。中魚津の激動の中に巻き込まれていく。実戦を山西省の山奥で体験したが、身なりが小さいことが幸いしてか、介した梁井主事も隊全滅のなかにひとりだけ助かっていた。終戦とともに戻ったが、中国に残るつもりで、山東省政府文化協全職員となり日語新聞の編集にたずさわったことがある。しかし責任者が戦犯でひっぱられてしまったので内地へ帰らざるを得なくなった。結局ふるさとの地におちつくことになつてしまったが、さうさく若御本人はハゲなとなつて活躍することになる。そこで生来好きな文章の才を発揮して、機関誌「生涯」を84号も発行した。社会教育畑の人にふさわしいかどうでもあった。

「社会教育を具体的に住民生活の中に根づかせたい。このためのサービス体制を備えたい」と念じながら滝沢さんは、きよ京の電気学校を出てから、夢を抱いて中国大陸へ渡った。そして華北殖産公司を立ち出した。中魚津の激動の中に巻き込まれていく。実戦を山西省の山奥で体験したが、身なりが小さいことが幸いしてか、介した梁井主事も隊全滅のなかにひとりだけ助かっていた。終戦とともに戻ったが、中国に残るつもりで、山東省政府文化協全職員となり日語新聞の編集にたずさわったことがある。しかし責任者が戦犯でひっぱられてしまったので内地へ帰らざるを得なくなった。結局ふるさとの地におちつくことになつてしまったが、さうさく若御本人はハゲなとなつて活躍することになる。そこで生来好きな文章の才を発揮して、機関誌「生涯」を84号も発行した。社会教育畑の人にふさわしいかどうでもあった。

「社会教育を具体的に住民生活の中に根づかせたい。このためのサービス体制を備えたい」と念じながら滝沢さんは、きよ京の電気学校を出てから、夢を抱いて中国大陸へ渡った。そして華北殖産公司を立ち出した。中魚津の激動の中に巻き込まれていく。実戦を山西省の山奥で体験したが、身なりが小さいことが幸いしてか、介した梁井主事も隊全滅のなかにひとりだけ助かっていた。終戦とともに戻ったが、中国に残るつもりで、山東省政府文化協全職員となり日語新聞の編集にたずさわったことがある。しかし責任者が戦犯でひっぱられてしまったので内地へ帰らざるを得なくなった。結局ふるさとの地におちつくことになつてしまったが、さうさく若御本人はハゲなとなつて活躍することになる。そこで生来好きな文章の才を発揮して、機関誌「生涯」を84号も発行した。社会教育畑の人にふさわしいかどうでもあった。

# 県公連大会10年を思う

須藤彦四郎

君は適任とおぼたて  
まことに感無量です。  
られ、町村合併市制  
施行時に市公民館主  
事になってからは  
や十年の歳月が流れ  
ました。新市を性格  
づけ、力強く活気あ  
ふれるものとし、旧  
町村のモノロー意識  
(孤立主義)を破り  
広い視野に立って市  
づくりにつくりをす  
るためにこの市当局  
の方針を受入れての  
のふれ合いを求めたこと、  
つり成人式、敬老会、地区民大  
運動会、市民大運動会、巡回の映  
画鑑賞の会、移動図書館、演劇祭  
とされた、盛大な開会式後、森戸先  
生の記念講演「社会教育の課題」  
を拝聴する。日本の良識を代表す  
るといわれる森戸先生の静かとし  
ての十月四日、五日の二日間、高  
ききくすまうな講義に六百の参加  
者は息一つたてず聴講、分科会へ  
とつづる。さすが社会教育関係者  
及び関係団体代表者の大会だけに  
話題は豊富で時間のたつのもわず  
れ熱心な討議がなされました。  
第二日目は講師の家田知事が都  
合で欠席され残念でしたが「シン  
ポジウム」の熱心な討議でうめあ  
りました。

## 明るい将来に意強まる

大宮 貫一

は青年学校と隣壁、講習、講演が  
並行して行なわれました。そのこ  
ろの県公連大会は話題が賑やかで  
全くお祭りの気分がふられていま  
す。静かに明日を見透して行く学  
習が始まっています。  
第十五回県公連大会はそのよう  
なムードの中で静かに行なわれま  
した。決して団体や地盤のためば  
かりではないと思っています。ま  
た表彰された職員は縁の下の方も  
ちとしての実力を身につけた代表  
者ばかりと自覚できました。大会史  
も二十五回にしてようやく充実  
の感を深くしました。  
(十日町市公民館主事)

## 県大会に参加して

君は適任とおぼたて  
まことに感無量です。  
られ、町村合併市制  
施行時に市公民館主  
事になってからは  
や十年の歳月が流れ  
ました。新市を性格  
づけ、力強く活気あ  
ふれるものとし、旧  
町村のモノロー意識  
(孤立主義)を破り  
広い視野に立って市  
づくりにつくりをす  
るためにこの市当局  
の方針を受入れての  
のふれ合いを求めたこと、  
つり成人式、敬老会、地区民大  
運動会、市民大運動会、巡回の映  
画鑑賞の会、移動図書館、演劇祭  
とされた、盛大な開会式後、森戸先  
生の記念講演「社会教育の課題」  
を拝聴する。日本の良識を代表す  
るといわれる森戸先生の静かとし  
ての十月四日、五日の二日間、高  
ききくすまうな講義に六百の参加  
者は息一つたてず聴講、分科会へ  
とつづる。さすが社会教育関係者  
及び関係団体代表者の大会だけに  
話題は豊富で時間のたつのもわず  
れ熱心な討議がなされました。  
第二日目は講師の家田知事が都  
合で欠席され残念でしたが「シン  
ポジウム」の熱心な討議でうめあ  
りました。

## 裏方として(記録係)

矢端 甫夫

大会の日が迫るにつれて、い  
ろんな問題が取り巻いてきた。  
しかし、最初のネライであった  
スマートな大会に終始しようと  
いう工夫のかけあつて、郷  
土民謡の上演効果も落ちつ  
いた。お題が出せし  
また開会式の演出も、むし  
るスッキリしてよかったとい  
う声もあつたといつても、  
すべてがごときおろなく順調に  
終わったわけではなかった。  
から、字数の割の振りが、各  
配布することができてホッと  
した。

## 公民館人の氣迫感

佐竹 実

下越教育事務所佐渡出張所社教主事  
こころは一會員として参加し、  
心のぞかに大会の気分を味わ  
ることができて何よりだった。も  
とより間のびし、鈍感を誇る私  
なので、心の映像もぼけてい  
ると思う。一思いのままを述べ  
て見たいと思う。  
参加者について  
い、今までになく女子會員が多  
かったことがまず目についた  
口、會員名簿の上から社会教育  
委員の方々の参加が少くないよ  
うに思った。と同時に地域教  
育の向上進展という意味から  
学校側からの参加があつたら  
とも思つてみた。  
ハ、公民館長、運営委の方たち  
の参加が多かつたが、話し合  
ったことなどについてそれぞ  
れの地域に反映するよう努力  
に働きかけてほしいと念願す  
る。  
。分科会について  
イ、分科会の人数が多すぎた。  
口、同じ主題のものをいくつか  
持つてもよいのではないか。  
気の小さい者のためにも、少  
人数であることが助かる。

とまああれ、開催地としての不  
備はあつたが、参加者の熱意に  
よつて埋め合わせができ、裏方  
もむくわれた。  
(直江津市公民館主事)

原稿  
全国大会参加感想文、新年号  
隨筆などお送りください。

とまああれ、開催地としての不  
備はあつたが、参加者の熱意に  
よつて埋め合わせができ、裏方  
もむくわれた。  
(直江津市公民館主事)